

夏号

伝統芸能

# 日本の祭り

さあ、出かけよう!!

胸が高鳴る…心が踊る…「日本の祭り」。  
古より受け継がれ、歴史と文化に彩られた  
日本の「伝統芸能」がここにある。



沖縄県 沖縄市  
「沖縄全島エイサーまつり」



宮城県 南三陸町  
「登山流氷戸辺鹿子躍」

佐賀県 鹿島市  
「面浮立」

この冊子の内容は右記のホームページからご覧になれます。地域伝統芸能活用センター <http://www.dentogei.no.or.jp>

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



# 日本の祭りには熱気と人情がある 伝統芸能には古より継承された命がある

地域伝統芸能賞受賞祭事を中心に選出しています

実施日 毎年8月4日から8日までの5日間  
今年は8月4日(土)~8日(水)

高さ二十メートルを越す「立佞武多」が市街地を練り歩く

青森県 五所川原市 立佞武多

新潟県 新潟市

大民謡流し(新潟祭り)

実施日 毎年8月上旬の金土日  
今年は8月3日(金)

- ④ 8月/新潟市「大民謡流し」 P4
- ⑤ 8月/南砺市「麦屋節・こきりこ」 P4

7月/別所温泉「岳の幟行事」

7月/京都市「京都祇園祭」

9月/岸和田市「岸和田だんじり祭り」

⑦ 8月/笠岡市「白石踊」 P5

⑧ 8月/日田市「日田祇園祭」 P5

⑨ 9月/鹿島市「面浮立」 P5

実施日 毎年8月14日 今年実施予定(昨年は震災のため中止)

宮城県 南三陸町 行山流水戸辺鹿子躍

⑩ 9月/沖縄市「沖縄全島エイサーまつり」 P6



- ① 8月/五所川原市「立佞武多」 P3
- 8月/青森市「青森ねぶた祭」
- 8月/秋田市「竿燈まつり」
- 8月/山形市「山形花笠まつり」
- ② 8月/南三陸町「行山流水戸辺鹿子躍」 P3
- ③ 8月/石巻市「寺崎はねこ踊り」 P3
- 8月/仙台市「仙台七夕まつり」
- ⑥ 8月/土浦市「大畑からかさ万灯」 P4
- 8月/富士吉田市「吉田の火祭り」

実施日 毎年7月20日過ぎの土・日曜日  
今年は7月21日(土)~22日(日)

大分県 日田市 九州三大祇園祭の一つ 日田祇園祭

実施日 毎年9月第2日曜日  
今年は9月9日(日)

佐賀県 鹿嶋市 面浮立

笛や鐘、太鼓のリズムに合わせて踊る勇壮な踊り

## 目次 CONTENTS

- 日本各地の祭り・伝統芸能分布図 ..... P1・P2
- ① 五所川原市「立佞武多」 ..... P3
- ② 南三陸町「行山流水戸辺鹿子躍」 ..... P3
- ③ 石巻市「寺崎はねこ踊り」 ..... P3
- ④ 新潟市「大民謡流し」 ..... P4
- ⑤ 南砺市「麦屋節・こきりこ」 ..... P4
- ⑥ 土浦市「大畑からかさ万灯」 ..... P4
- ⑦ 笠岡市「白石踊」 ..... P5
- ⑧ 日田市「日田祇園祭」 ..... P5
- ⑨ 鹿島市「面浮立」 ..... P5
- ⑩ 沖縄市「沖縄全島エイサーまつり」 ..... P6
- 地域伝統芸能活用センターより ..... P6

青森県  
五所川原市

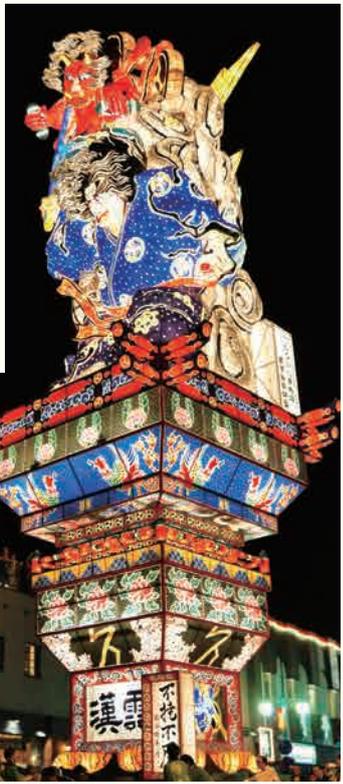
# たちねぶた 立佞武多



実施日 毎年8月4日から8日までの5日間

## 高さ20mを越す、「立佞武多」が市街地を練り歩く

平成5年にねぶたの台座の図が偶然発見されたことを契機に、平成8年には有志による復元の会が結成されました。復元の会では、資金と人手の支援を受けつつ岩木川の河川敷で復元作業を始め、約80年ぶりに巨大ねぶた「武者」が完成し、その姿から「立佞武多」と命名されました。運行コースの障害となる電線の地中化や道路の整備も行われ、毎年8月4日から8日までの5日間開催される祭りでは、高さ約22m、重さ約17トンの巨大な山車が「ヤッテマレ! ヤッテマレ!」の掛け声のもと中心市街地を練り歩き、その圧倒的迫力で沿道の観客を魅了しています。



アクセス 電車：JR五能線「五所川原駅」下車  
車：津軽自動車道「五所川原北IC」

五所川原商工会議所地域振興課  
<http://www.gocci.or.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

宮城県  
南三陸町

# ぎょうざん りゅうみ とべし しおどり 行山流水戸辺鹿子躍



実施日 毎年8月14日  
今年は実施予定(昨年は震災のため中止)

## 復興のシンボルに! 活動を再開!

旧伊達藩北部に伝わる「行山流水戸辺鹿子躍」は、水戸辺村住人であった伊藤伴内持遠が元祖とされています。発祥の地であった戸倉水戸辺地区では鹿子躍は途絶えてしまいましたが、昭和57年、高台の土中から享保9年銘の躍供養碑が発見されたことから鹿子躍復活の機運が高まり、伴内直系の躍りを伝える一関市舞川の鹿子躍保存会の指導を受け、平成4年菩提寺である慈眼寺で躍供養を奉納し復活の庭揃えとなりました。学校での教育にも取り入れられ、各地の祭典やイベントにも参加し地域の人々を元気づけ、絆を繋げる重要な役割を果たしています。



アクセス 電車：JR気仙沼線「陸前戸倉駅」下車

南三陸町観光協会  
<http://www.m-kankou.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

宮城県  
石巻市

# てら さき おど 寺崎はねこ踊り



実施日 毎年9月(ものうふれあい祭り)  
今年は9月8日(土)

## 3つのお囃子による全国に類を見ない豊年踊り

江戸時代、豊作に恵まれ当時の寺崎村の住民が寺崎八幡神社に神楽を奉納しました。この時、村人が太鼓や笛などの演奏に合わせて踊ったのが寺崎はねこ踊りの始まりと言われています。長襦袢、姉さんかぶり、日の丸の扇子を持った男女がお囃子にあわせて跳ねながら踊ります。「ものうふれあい祭り」のメインイベント「はねこ踊りパレード」は約1000人の踊り手が参加し、ダイナミックに乱舞します。花火も祭りに華を添えます。

アクセス 電車：気仙沼線「陸前豊里駅」下車  
車：三陸自動車道「桃生豊里IC」



石巻観光協会  
<http://www.i-kanko.com/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

新潟県  
新潟市

だい じん しょう なが  
**大民謡流し**

新潟市



実施日 毎年8月上旬の金土日  
今年は8月3日(金)

**まつりのルーツは4つの祭り! 日本最大級の民謡流し**

新潟まつりのメイン行事の一つ、「大民謡流し」。市内のメインストリートにおいて約120団体、1万4千人の踊り手が「新潟甚句」(一部の場所では「佐渡おけさ」)を踊り、多数の踊り手が一同に会して踊り、市民みこし、水上みこし、花火大会も加わり祭り行事としては日本一と言われている。もちろん飛び入りも歓迎です。

アクセス 電車：JR「新潟駅」下車  
車：北陸自動車道「新潟西IC」又は磐越自動車道「新潟中央IC」

新潟まつり実行委員会  
<http://niigata-matsuri.com/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



「麦屋節」

「こきりこ」

南砺市観光協会  
<http://tabi-nanto.jp>

富山県  
南砺市

むぎ や ぶし  
**麦屋節・こきりこ**

石川県  
南砺市  
富山県

実施日 毎年/麦屋祭り 9月23・24日  
こきりこ祭り 9月25・26日

**小さな世界遺産の村・五箇山の活気に満ちた踊り**

毎年9月に南砺市の旧平村で行われる祭り。前半は下梨地主神社境内で「五箇山麦屋まつり」が行われ、後半は上梨白山宮境内で「こきりこ祭り」が行われます。五箇山民謡保存団体が舞台で総出演するほか、一般客が参加できる踊りの講習会や総踊りも併せて実施されます。昭和48年には「五箇山の歌と踊り」が国の無形文化財に選択されました。平成元年に「五箇山麦屋まつり」と「こきりこ祭り」の2つの祭りの開催日をつなげ、4日間いつでも五箇山民謡が楽しめるようになりました。

アクセス 電車：R北陸線「高岡駅」からJR城端線「福光駅」下車  
車：東海北陸自動車道「福光IC」

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

茨城県  
土浦市

おお はた まん どう  
**大畑からかさ万灯**

栃木県 茨城県  
土浦市  
千葉県

実施日 毎年8月15日

**大地に火の粉が降り注ぐ… 江戸時代より伝承された技**

茨城県南部、筑波山の南麓に位置する新治大畑村は、江戸の昔より田畑の水源を降雨にのみ頼っていました。鷲神社は五穀豊穰・天下泰平・村内安全の守護神として厚い信仰を受けていましたが、約250年前に各地に風俗習慣として残されていた雨乞いのための「煙火」として、「からかさ」を使用した仕掛け花火を始め、打ち上げ花火や雨乞いの囃子と合わせて奉納されてきました。祭りの主役「からかさ」は綱火、八つ口・提灯、手ボタンに分かれ、傘は直径約5m・高さ約6mと圧巻です。火が消えた後、縁起のものとする「大唐笠の花」を見物人が取り合い、祭りのフィナーレをむかえます。

アクセス 電車：JR常磐線「土浦駅」下車  
車：常盤自動車道「土浦北IC」



土浦市観光協会  
<http://tutiura.727.net/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

岡山県  
笠岡市

# しら いし おどり 白石踊



実施日

毎年8月13～16日

## 瀬戸内の名勝の島に伝わる国指定重要無形文化財

白石島は岡山県笠岡市の沖合に浮かぶ大小30余りの島々からなる笠岡諸島のひとつ。国立公園に指定されている周囲約10キロの島には900余りの人々が生活しています。白石踊りは源平の合戦で戦死した人々の霊を弔うために始まったと伝えられる踊りで、元は回向(えこう)踊りと呼ばれていました。口説(くどき)の歌と大太鼓による一曲の音頭に合わせて、男踊・女踊・奴踊・笠踊など異なった振り付け(13種類)と衣装で一つの輪になり渾然一体となって勇壮活発、豪華絢爛に踊られます。

アクセス

電車：JR山陽本線線「笠岡駅」下車  
笠岡港から高速船「白石島」



笠岡市観光連盟

<http://www.kasaoka-kankou.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

大分県  
日田市

# ひ た ぎ おん まつり 日田祇園祭



実施日

毎年7月20日過ぎの土・日曜日  
今年は7月21日(土)～22(日)



## 九州三大祇園祭の一つ 国指定重要無形文化財

日田の夏の風物詩・日田祇園祭は、約350年前に夏の厄除け行事として始まったと伝えられています。国の重要無形民俗文化財に指定されている、疫病や風水害を祓い、安泰を祈念する勇壮な夏祭り。日田の夏を彩る風物詩です。現在は9基の山鉦が昼夜市内を巡行し、その優雅な姿を披露し、市内は華やかな山鉦と祇園囃子で賑わいます。日田の山鉦は、博多山笠等とは形が異なり、むしろ京都祇園祭の山鉦の影響を強く受けていると言われていました。祭り当日2日前の木曜日に行われる駅前顔見世では全基が勢ぞろいし、山鉦の美しさは一見の価値があります。

アクセス

電車：JR久大本線「日田駅」下車  
車：大分自動車道「日田IC」

日田市観光協会

<http://www.oidehita.com/>

佐賀県  
鹿嶋市

# めん ぶ りゅう 面浮立



実施日

毎年9月第2日曜日  
今年は9月9日(日)  
かしま伝承芸能フェスティバル

## 笛や鐘、太鼓のリズムに合わせて踊る勇壮な踊り

鬼面に太鼓、シャグマ(頭につけた毛又は麻)を揺らして勇壮に舞い踊る「面浮立」は佐賀県を代表する地域伝統芸能です。面浮立の起こりについては、戦の中で奇襲に鬼面を被ったのが始まりとの言い伝えがありますが、調和のとれた優美さの中にローカル味たっぷりの郷土芸能として現在は五穀豊穡への感謝をこめて各地の神社に奉納されています。「面浮立」の面は鬼ですが、この鬼は決して人に害を及ぼすことなく、むしろ人の生活を守り、悪霊を退治する鬼として民衆に親しまれ、大切に扱われてきました。地方の人々にも非常に親しまれ、又広く県外にも知られています。



アクセス

電車：JR長崎本線「肥前鹿嶋駅」下車  
車：長崎自動車道「武雄・北方IC」

鹿嶋市観光協会

<http://kashima-kankou/>

5 ※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



実施日 毎年9月7～9日

**観客動員が3日間で述べ30万人の県内最大のまつり**

沖縄が戦後、基地依存から脱却しようとしていた頃、戦後復興のシンボルでもあったエイサーがコザ市で盛んに行われていたことから、「エイサーで元気を取り戻そう!」とエイサーコンクールが開催されたのが始まりです。第22回(1977年)からは「沖縄全島エイサーまつり」として開催されるようになり、最終日には県内各地より選抜された様々なエイサーが繰り広げられ、3日間で延べ30万人の観客動員数を誇る、県内最大のエイサーまつりへと発展しました。毎年恒例となったフィナーレのカチャシーで会場一体になり、締めの花火で沖縄の暑い夏を堪能してください。



沖縄全島エイサーまつり実行委員会  
<http://www.zentoeisa.com/>

アクセス 車 : 沖縄自動車道「沖縄南IC」

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

**地域伝統芸能活用センターより**

当センターで行っております地域伝統芸能団体の顕彰および地域伝統芸能全国大会についてご紹介いたします。

**一、地域伝統芸能特別賞の制定**

当センターは、毎年、地域伝統芸能等に関わる方々を対象に表彰を行っています。

平成二十四年度は、特に、昨年の東日本大震災により被災したにもかかわらず、地域伝統芸能の活動を再開し、被災者に復興への活力を与えている方々を表彰することとし、「地域伝統芸能特別賞」を設けることとしました。受賞者は次の三団体です。

● 釜石虎舞保存連合会(釜石虎舞 岩手県釜石市)

東日本大震災により釜石市は甚大な被害をこうむり、虎舞も屋台山車は倒壊し、衣装などは流失しましたが、釜石や東北各地の被災地で虎舞の公演を行い、沢山の人々に元氣を与えています。

● 行山流水戸辺鹿子躍(ぎょうざんりゅうみとべしおどり)保存会(行山流水戸辺鹿子躍 宮城県南三陸町戸倉)

津波は地区を壊滅させ、保存会でもメンバーの中学生が亡くなるなどの中、道具や衣装を泥の中から拾い集め、南三陸町はじめ各地の避難所等で鹿子躍の公演を行い、人々を元氣づけ、絆を繋いでいます。

● 請戸(うけど)芸能保存会

(請戸の田植踊 福島県浪江町請戸)

請戸地区は津波により壊滅的な被害を受け、また、原発事故



「釜石の虎舞」



「請戸の田植踊」

の警戒区域となつてメンバーが散り散りになる中、地元の絆の復活、犠牲者への追悼の思いから、田植踊の活動を再開しています。

**二、その他の表彰対象者**

平成二十四年度の他の表彰は次のとおりです。

■ 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞

八槻都々古別(やつつきつこわけ)神社楽人会及び御田植保存会

(七座の神楽、太々神楽、御田植神事 福島県東白川郡棚倉町)

古式ゆかしい七座の神楽、太々神楽、

また、全国的にも珍しい能狂言風の御田植を保存継承し、小さな町に賑わいをもたらしています。



「八槻都々古別神社の御田植」

■ 地域伝統芸能大賞保存継承賞

小奴可(おぬか)地区芸能保存会

(塩原の大山供養田植 広島県庄原市東城町塩原)

塩原の大山(だいせん)供養田植を、古くからの形式を忠実に伝承しつつ継承し、後継者の育成にも努めています。

■ 地域伝統芸能大賞活用賞

寺崎はねこ踊り保存会

(寺崎はねこ踊 宮城県石巻市桃生町)

はねこ踊りフェスティバルを開催し、はねこ踊を市内外に広く知らしめながら、市の活性化に繋がっています。

■ 地域伝統芸能大賞支援賞

植田 倫吉(りんきち)氏

(石見神楽の蛇胴制作 島根県浜田市)

石見神楽の有名な「大蛇」に使用する蛇胴(じゃどう)の製作を行い、石見神楽の継承と発展を支えています。

三、二十四年度の地域伝統芸能全国大会

平成二十四年度は、当財団名誉総裁である高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、「まつりが結ぶ ふるさとの絆」のテーマのもと、十月二十七日、二十八日に福島県郡山市及び会津若松市で開催いたします。福島への応援ともなる大会ですので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願ひ致します。

平成二十四年度(年4回発行) 発行所 財団法人地域伝統芸能活用センター

宝くじは、  
地方自治体の公共事業等に  
幅広く使われています。

ワクワク、  
続々。



宝くじの収益金は、  
病院や検診車、図書館や動物園、  
災害に強い街づくり、  
緑あふれる公園、美術館など、  
皆様の暮らしに役立てられています。